

市長への  
手紙から

富士山眺望マップの作成を

市政モニター経験者によって結成されているOB会（荻田均会長）では、昨年度、富士山の眺望ポイント进行调查する活動を行いました。富士山眺望マップの作成について、OB会から寄せられた提言をご紹介します。



東部市民プラザ北側より

「市長への手紙」から

富士市には、日本が誇る世界一華麗な富士山がそびえています。富士山を眺めたときの感動は大きく、すばらしい眺めを市外から訪れる方々に紹介する

ことは、市の観光にとっても重要なことです。そこで、市内での美しい姿を容易に楽しめる場所をいくつか選定した「富士山眺望マップ」を作成し、皆さんに知らせてはいかがでしょうか。OB会では、東部市民プラザ北側や田子の浦港南、ロゼシアター歩道橋など、だれでも自由に入入りでき、眺められる場所を挙げてみました。

【市長からの回答】

富士山眺望マップについてですが、現在、市では岩本山公園など七か所を富士山が美しく見える場所として選定し、パンフ

レットや絵はがきなどを作成し、観光展などでPRを行っています。また、今後はインターネットのホームページの中でも紹介していくなど研究していきたいと考えています。

写真展についても、例年いろいろな形で開催していますが、ことし展開されている静岡県大型観光キャンペーン「OPEN! しずおか」の中で、富士市のイベントとして「富士山写真展」をステーションプラザFUIにて開催しているところです。

また、平成十三年度を初年度とする第四次富士市総合計画の中で、「富士市富士山百選」（仮称）の検討を進めたいと考えています。その中で、OB会の皆さんからのご提言も参考にさせていただきます。貴重なご提言ありがとうございます。

〈担当 商工労政課〉



腹話術ボランティア

松山 静子さん

(鈴川東町)



▲子供たちと腹話術で対話  
(児童分館)

唇や歯を動かさず、おなかから声を出し、一緒にいる人形が話しているかのように見せる腹話術。人形と息の合ったかけ合いや独特の間が腹話術のおもしろさです。松山さんは、自作の二代目パートナー「コースケくん」と一緒に、高齢者の施設や病院、幼稚園や小中学校などを訪れ、腹話術を使ってお話を披露しています。

松山さんが友人を通じて腹話術に出会ったのは八年前。次第に腹話術のとりこになりました。

生来の「凝り性」も手伝って、自分で人形をつくったり、練習をし出すと数時間、時には、明け方まで続くこともあったりしたとのこと。



松山さんは、「腹話術では人形が人形自身の心でしゃべらないといけないとよく師匠から言われたものです。八年たつてようやくそれに近づいてきたかなと感じています。私のセリフをコースケくんが話してしまうなど失敗もまだ多いのですが…(笑)。

ボランティア先で、人形が皆さんに声をかけたり、一緒に歌ったりすることで、笑いがこぼれ、その場の雰囲気が一つになったとき、腹話術の持つ不思議な力を感じます。

私も楽しみながらこれからもボランティアを続け、腹話術のおもしろさを伝えていきたいです。と話してくれました。